



凡事徹底

内子中学校長 西本 晃

リーダーがこなす役割とは

部活動のリーダーが、3年生から2年生へ引き継がれて、もう半年、生徒会が引き継がれて、はや2か月が過ぎようとしています。

そこで、頼れるリーダーとなるために、どのような役割を果たす必要があるか、改めて考えてほしいと思います。

リーダーは、ただ単にみんなの代表でいるだけではいけません。メンバーが活動しやすい環境を整え、正しい方向に導くことが重要です。

リーダーがこなすべき役割の一例として、次の5つが考えられます。

- ①先頭に立って行動し、メンバーのお手本になる。
- ②目標を定め、チームや組織を正しい方向へ導く。
- ③メンバーがフルパワーを発揮できるよう環境を整える。
- ④いかなる状況でも周囲に声を掛けてやる気を高める。
- ⑤メンバーと密にコミュニケーションをとり、好ましい人間関係を築く。

内子中には、生徒会、委員会、部活動、学級活動等で、リーダーを任されている人がたくさんいます。時には、孤独になり寂しい思いをすることがあるかもしれませんが、一生懸命やり続ければ、必ずみんながリーダーの気持ちを理解し、付いてきてくれるはずです。過去最高の内中軍団を築くには、過去最高のリーダーが必要です。更なる維新を期待しています。

町を挙げて英語力アップに取り組んでいます

内子町では、町を挙げて、英語力向上に力を入れており、週3回程度、ALTの先生が来校し、英語科の教員とともに、授業を行っています。日頃から、英会話を聞き慣れた生徒は、それを生かして英語検定に挑戦し、3年生の半分以上が3級以上を取得するなど、着実に成果も上がっています。

また、1月に行われた検定にも1・2年生の多くの生徒が挑戦しており、意識が高まっています。

なお、英語科では、タブレットを使って、英文の音読の様子を自分で録音し、それを確認しながら、英語力向上が図れるよう取り組んでいます。

私の経験によると、大人になったときに、英語がしゃべれてよかったと思う日がきっとやってきます。更なる高みを目指し、頑張ってください。



部活動について

今年度も、生徒全員が何らかの部活動に所属し、熱心に活動するとともに、練習試合や大会、コンクールや演奏会に参加し、チーム力の向上を図っています。保護者の皆様には、生徒の送迎や応援などで、熱心に御協力いただき、心からお礼申し上げます。

さて、現在、多くの学校で、運動部の部員数の減少により、単独で大会に出場できない部活動が増えており、部活動再編の検討をしているとの情報も入ってきてはいますが、本校では、今のところ、来年度も下記の全ての部活動で部員を募集していく予定です。

ただ、先日の喜多郡学校体育会からのお知らせのとおり、総体及び新人戦について、来年度からは地域クラブ活動での参加が認められたこと、また、週末の地域部活動への移行が検討されていることもあり、部活動運営については、急な変更やお知らせがあることが予想されます。

今後、場合によっては、アンケートの協力や保護者会の開催等をお願いすることがあるかもしれませんので、その際には、どうか御協力ください。

参考までに、現在の部員数は下記の通りです。

部 活 名	2年	1年	合計	部 活 名	2年	1年	合計
野 球	1	4	5	女子バレー	8	6	14
サ ッ カ ー	6	4	10	女子バスケ	1	7	8
男子バスケ	3	4	7	女子テニス	7	7	14
男子テニス	9	9	18	女子ソフト	3	5	8
男 子 剣 道	3	2	5	女子剣道	5	0	5
生活情報	9	9	18	吹奏楽	7	9	16

運動部が団体戦に出場するために必要な人数

野球 9名（選手登録 18名）

サッカー 11名（選手登録 18名）

男女バスケ 5名（選手登録 15名）

男女テニス 6名（選手登録 8名）

男女剣道 5名（選手登録 7名）

女子バレー 6名（選手登録 12名）

女子ソフトボール 9名（選手登録 18名）

※ 不利な条件にはなりますが、サッカーは7名以上、ソフトテニスは4名以上、剣道は3名以上いれば単独で試合に出ることが可能です。また、上記の人数に満たない場合、近隣校と合同チームを組んで出場することができます。ただし、個人戦のあるソフトテニスと剣道は合同チームを組むことができません。

※ 今年度の新人戦には、サッカー部、ソフトボール部、軟式野球部が五十崎中学校との合同チームで参加し、2種目で県大会出場を果たすなどの、成果も上がっています。